

家電製品のいろいろ

「家電製品のいろいろ」(写真1)は、展示場4階「科学の歴史とあゆみ」コーナーの展示です。実はこの展示は、2023年まで展示場1階にあった展示「家庭の電気利用と消費電力」をリニューアルしたものです。

以前の展示では、エネルギーとしての電気の利用が時代と共に拡大する様子を、家電製品の歴史を通じて紹介していました。しかし今回の新しい展示では、私たちの生活に身近な家電製品の中に、どのような科学が入っているかを紹介しています。ですので、同じ資料を展示していますが、展示のコンセプトや各資料に添えている解説文も以前とは全面的に変更しています。



写真1:「家電製品のいろいろ」

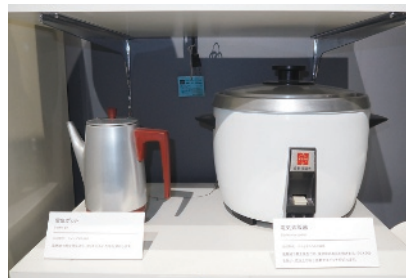


写真2:「家電製品のいろいろ」
で展示中の電気ポット(左側)

私たちの身の回りにある電化製品は、照明を皮切りに、20世紀が始まる前後から家庭に入り始めました。そして現代では多数の家電が使われています。これらの製品には、科学の原理が利用されています。一例を挙げると、水をあたためる電気ポット(写真2)は、中に組み込まれたニクロム線に電気を流すと、ニクロム線の抵抗によって発生する熱(ジュール熱)を利用しています。そこで、展示の紹介パネルや、展示物に添えた解説を見ると、ジュール熱の原理と利用を知るこ

とできるようにしました。

解説スペースの関係上、展示品に使われている全ての原理を紹介できませんでしたが、解説文をヒントに、家電製品に潜む科学や技術を調べてみてください。

一見すると以前と変わらないように見えますが、2024年のリニューアルに合わせて、新しい視点で生まれ変わった展示を。ぜひじっくりとご覧になってください。

嘉数 次人(科学館学芸員)